

Thank you

ピース補習校からのサポートは福島の子ども達に沢山の笑顔と希望を与えてくれました。



オーストラリアから寄せられた
メッセージを紹介する林さん

オーストラリア・パース眼人
会(ストックトン画紀子会長)
は4日まで、県庁で「心のメッ
セージ展」を開き、本県で子育
てする人たちに回国から寄せら
れた激励のメッセージを飾って
いる。

現地の補習授業校に通う子ど
もたちの保護者が書いた「親親
メッセージ」や、日本祭りの会
場で募った計約100人分のメ
ッセージを展示。「家族や地域
のため頑張って子育てする姿に

豪から子育て応援

勇気をもらっています」などの
言葉に、カンガルーの手作り小
物を添えたメッセージが並んで
いる。

同展開催を仲介した「子ども
の笑顔キッズプロジェクト」日
本事務局責任者の林由美子さん
(64)は「原発事故や放射性物質
への不安と向き合いながら子育
てを頑張る福島県の人たちが
を、海外からたくさんの方が応
援していることを伝えたい」と
話している。



パースより郵送された親親メッセージカードとカンガルーキーリングは The K.I.S.S.Project スタッフの手で組み立てられ、
2014年3月31日(月)~4月4日(金)の5日間、福島県庁内県民ホールにて一般の方々に向け展示されました。

2014 4. 3
民報新聞

2014. 4. 13 (日) 福島民報(いわき版)

豪・パースの親子らメッセージ

「震災に負けないで」



富岡養護学校生を激励

オーストラリア・パースメッセージ十日
一ス在住の親子らが本
県の手育て世代に贈
った富岡養護学校に届
けた。

東日本大震災と東京
電力福島第一原発事故
から三年が経過した
いま、同じく「子ども
を持つ親」としてエ
ールを送ろうとオース
トラリア(パース)福
島県人会が企画し
た。

小さなカンガルーの
マスコットに「津波に
負けないで」「元気で
頑張ろう」などと書
かれたメッセージが付
けられている。

贈呈式では、横濱し
を移した「子ども
笑顔The BIG

K.I.S.S.プロ
ジェクトの日本事務
所責任者の林由美さ
さんがメッセージ三千
通と、二月にパースで
行われた日本まつり
のバザー売上金から寄
せた約七千四百
円を小野崎小学校に手
渡した。生徒代表の大
山直也君(中学三年生)
が大切にしようと
お礼の言葉を述べた。
メッセージは生徒を通
じて、保護者に届ける
予定。

同校の他、福島市の
福島大付属特別支援学
校と県女性のための相
談センターに届け
られた。

2014年：親親メッセージ



2015年：福島県内の保育園へ絵本をお届け。



2015年：福島県内の保育園へ絵本をお届け。



パースさま



ぼくは、小学一年生から一輪車をおいでしています。
 さいしょは全く一輪車にのれませんでしたが。今は毎日糸束習
 をしてのびています。
 糸束習はわざができたリ、中まが入たり楽しいからです。
 つらい時は向回わってでもわざができない時です。
 遊ぶ時あまり時間がありません。で
 ても、ぼくのもく表は、せかい大会でチャンピオンになることです。
 これからもおうえん、おねがいします。

南向台小学校 3年 佐藤 希緒
 67



2016年：余目一輪車クラブへ。大会出場が叶いました。

サッカー部員に支援金を手渡す時崎さん(中央右)



3 団体に支援金贈る

豪パースの県人会

福島の子どもらを応援しようとして、オーストラリア東部のパースで活動している県人会「パースふくしまの会」などが、桜の聖母高サッカー部など3団体に支援金を寄せた。24日、同校サッカー部への贈呈式が行われた。

支援金を寄せたのは同会とパース補習授業校、ジュン・パシフィック・コーポレーション。現地で3月に開いた「パース・ジャパン・フェスティバル(日本祭り)」の益金に、現地の子どもたちから寄せられた寄付金を合わせた計18万円を、福島市のボランティア団体「子どもの笑顔サ・ピット」を通じて寄付する。

金額は桜の聖母高サッカー部が8万円、余目一輪車クラブと、音楽を通じた復興支援に取り組むでんからキヤラン福島ツアールが各5万円。同校サッカー部には、同会の活動に賛同した東邦銀行教育・文化財団からの2万円が加えられた。同校サッカー部への贈呈式では、東邦銀行サッカー部選手・監督の時崎壘さんが黒津未黎主将(3年)に支援金を手渡した。時崎さんは「部活で上を目指すとともに、学業との両立も頑張ってほしい」と部員を激励した。

黒津主将は「練習に不可欠な用具の購入などに充てる。インターハイ(全国高校総体)で精いっぱい頑張りたい」と話した。

余目一輪車クラブにはすでに支援金が贈られており、でんからキヤラン福島ツアールは今後となる。

パースふくしまの会 様

余目一輪車クラブ
代表 佐藤 菜花

拝啓 初夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は、当余目一輪車クラブに対し過分なる御支援金をいただきまして、誠にありがとうございました。

皆様方のあたたかい御支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。

現在、来月行われる東京大会と9月に行われる小学生全国一輪車大会の予選通過にむけて練習に励んでおりました。

また、2年後の世界大会も近づいており、子供達と保護者一丸となって一日一日を全力で過ごしております。

団員24名と共に、目標や夢にむかってこれからも楽しく一輪車に取り組んでいきたいと思っております。

いただきました御支援金は、大切に子供達の活動へ使わせていただく所存でございます。

誠に略儀ではございますが、とりいそぎ書中をもって御礼まで失礼いたします。
敬具

ありがとうございました



これからも頑張ります

2018年：余目一輪車クラブと桜の聖母高校サッカー部へ。遠征と大会出場が実現しました。



あてきな、ふれせんとを
ありがとうございました



レつかはーあに



あそびにいきたいです

あいあいほいけん



X ロンズみより



2019年：福島商業高校吹奏楽部とあいあい保育園へ。
楽器修理と新しい絵本&絵本スタンド購入に充てられました。



2020年：猪苗代支援校へ。夢の雪遊び活動が現実に。